

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	八田 徳高 (****年**月**日)
本籍	*****
学位(専攻分野)	博士(感覚矯正学)
学位授与番号	乙第36号
学位授与日	令和3年3月20日
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当
論文題目	聴覚情報処理機能に関する検査方法の開発及びその評価
審査委員	教授 種村 純 教授 彦坂 和雄 教授 福永 真哉

博士論文内容の要旨

Auditory Processing Disorder(APD)を評価する日本語版聴覚情報処理機能検査セット(APT)を作成した。本検査セットを6歳から12歳の小児、統制群55名とAPDが疑われる26名に実施し、 α 係数0.69と信頼性が確認された。また、統制群において、5検査に学年間の成績差が認められた。両群の成績比較から各課題のカットオフ値を設定した。また、聴力の異常は認められず、聴こえの困難を訴える成人31名にAPTと認知機能検査を実施し、認知機能に障害を示す者(非APD群)と示さない者(APD群)を分け、成績を比較した。APD群と非APD群ではAPT課題間の相関が大きく相違し、本検査により聴覚心理的障害と認知機能障害とを区別できる可能性を示した。

博士論文審査結果の要旨

審査会では予備審査会での指摘にしたがって修正・加筆した事項について発表と質疑応答がなされた。質疑応答では成人APD群と非APD群の区分の意義を問われ、海外で混同されている発達障害とAPDとの症候の差異について述べ、新規な知見を見いだす能力を示した。研究内容の発表を受けて、この日本語版聴覚情報処理機能検査セットが信頼性を有すると判断し、本研究成果をしかるべき学術誌に投稿し、掲載を目指すとの回答を得たため、審査委員会は本論文が博士論文にふさわしい成果であると評価した。